

【対策のポイント】

- 椎木堰は、貯水量が63万3千 m^3 と大きく下流に住宅や鉄道等が存在するため、**決壊時に大きな被害**のおそれ。
- このため、3か年緊急対策において、**堤体の嵩上げと洪水吐の流下能力の向上**を実施。
- ため池の防災工事を完了していたことで**令和3年8月の大雨による被害を回避**。

【取組地域の概要】

- 位置
- ・千葉県いすみ市



- 主要作物
- ・水稻

ため池の防災工事を実施

- 3か年緊急対策において、**堤体の嵩上げと洪水吐の流下能力の向上**を実施。

対策前



対策後



堤体の嵩上げ
(最大)
+1.14m



防災工事
(H27～R1)

基盤

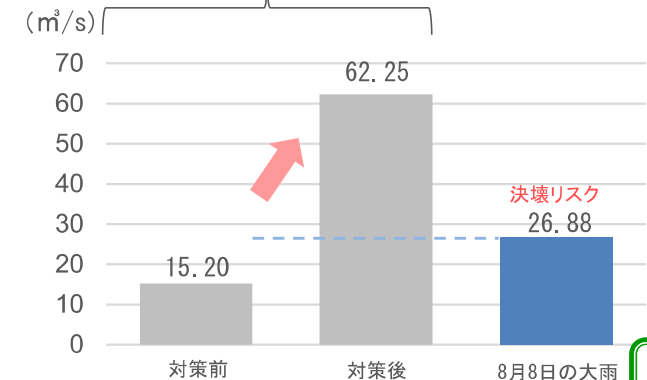
堤体の決壊を防止し、下流の被害を軽減

- 令和3年8月8日の大雨では**時間雨量69.5mm**を観測。
(洪水量26.88 m^3/s)
- 対策前では溢水のおそれがあったが、**防災工事を完了していたことで洪水が安全に流下**。

想定される被害

	想定被害額	想定被害面積
対策前 (決壊した場合)	4億9,810万円	6.6ha
対策後	被害なし	被害なし

洪水吐を流下することができる水量



対策の効果